

# 吾妻山、安達太良山、 磐梯山の火山活動状況について

福島地方気象台

# 吾妻山の活動状況

平成26年12月12日15時00分

吾妻山に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)を発表  
小規模な噴火の可能性。大穴火口から500mの範囲では警戒が必要

大穴火口付近では小規模な噴火が発生する可能性がありますので、大穴火口周辺(火口から概ね500mの範囲)では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には入らないでください。

また、大穴火口の風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石、火山ガスに注意してください。



# 吾妻山の活動状況

大穴火口からの噴気の状況(2015年4月9日)

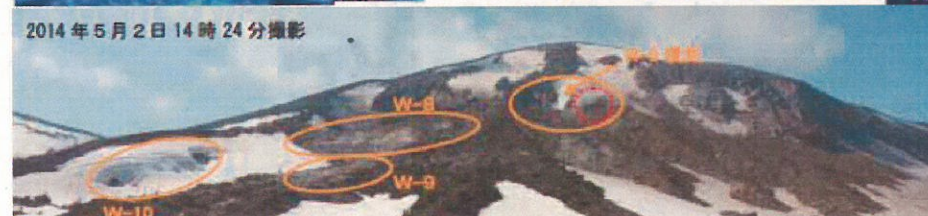
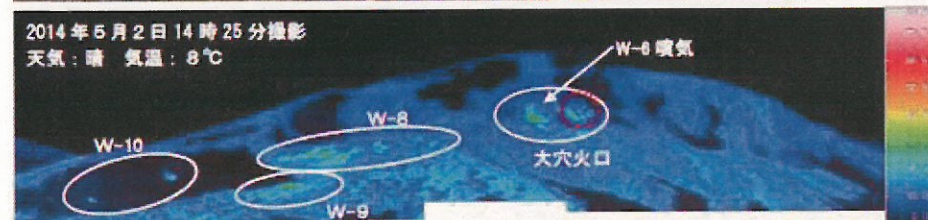
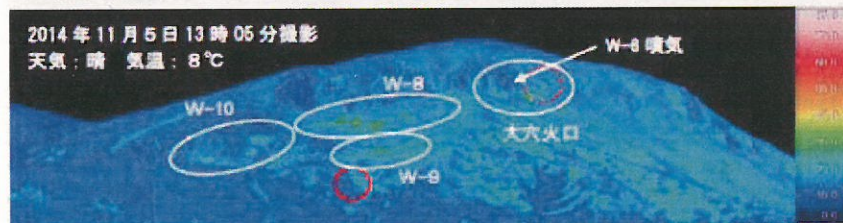
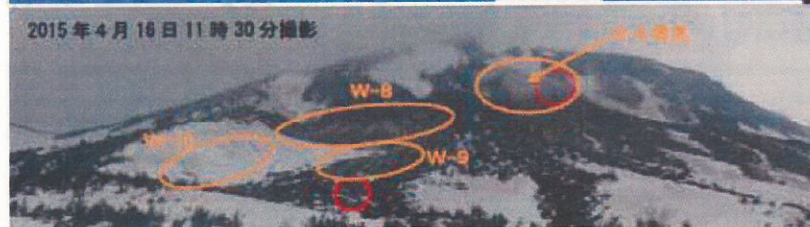
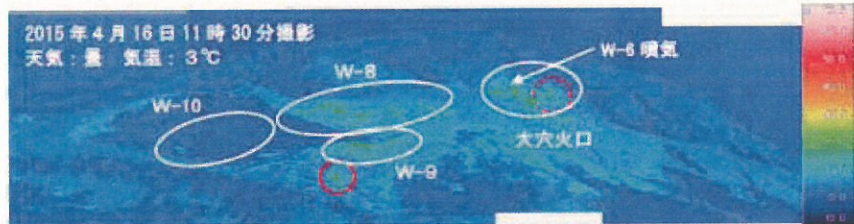


福島市上野寺(大穴火口から東北東約14km)に設置してある遠望カメラの映像  
・大穴北西火口壁の白色噴気で、高さは200m

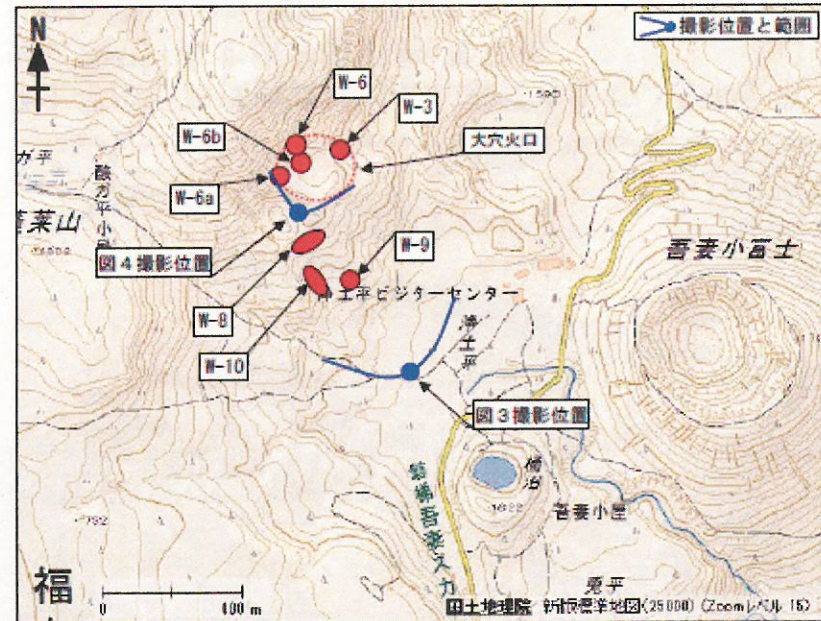


浄土平山頂の東南東約1kmに設置されている浄土平火口カメラ(東北地方整備局)の映像  
(2015年4月9日08時34分頃)





## 撮影位置



## 大穴火口・八幡焼付近の可視画像と地表面温度分布

上段：2015年4月16日11時30分撮影

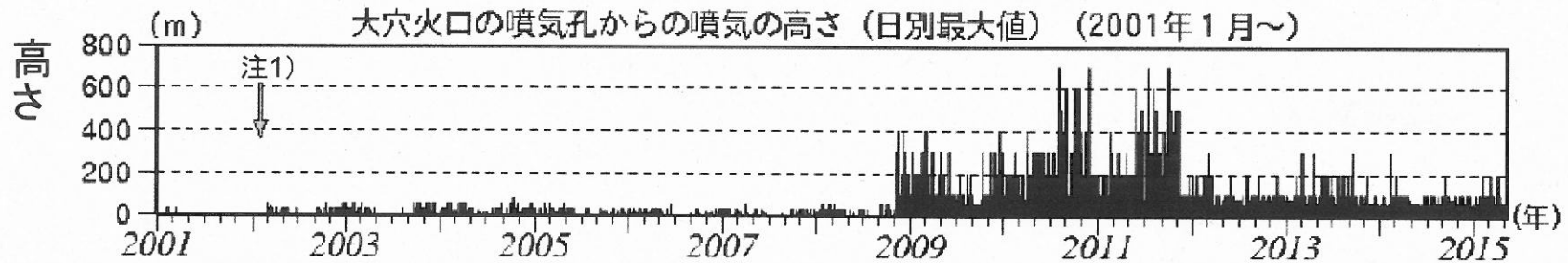
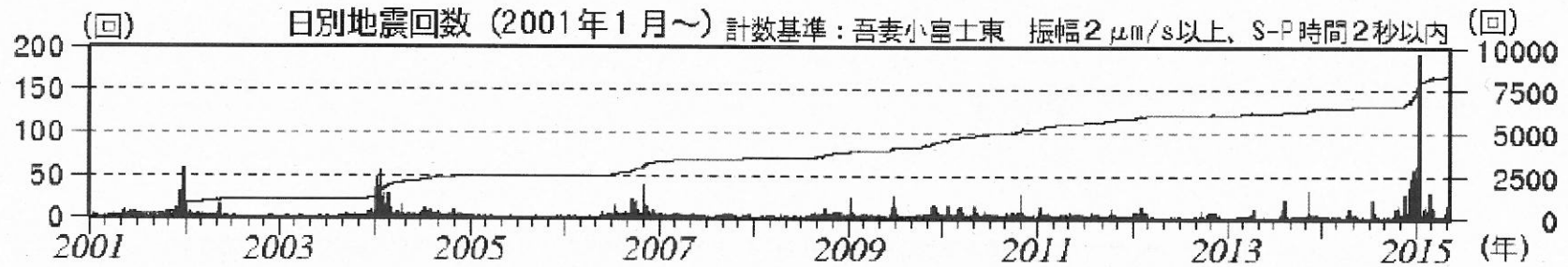
中断：2014年11月5日13時05分撮影

下段：2014年5月2日14時25分撮影

- ・2013年以降拡大がみられている地熱域(赤破線)が、引き続き確認されました。
- ・赤実線領域は、時折温泉湧出及びそれに伴う高温域が認められる場所です。



# 吾妻山の活動状況

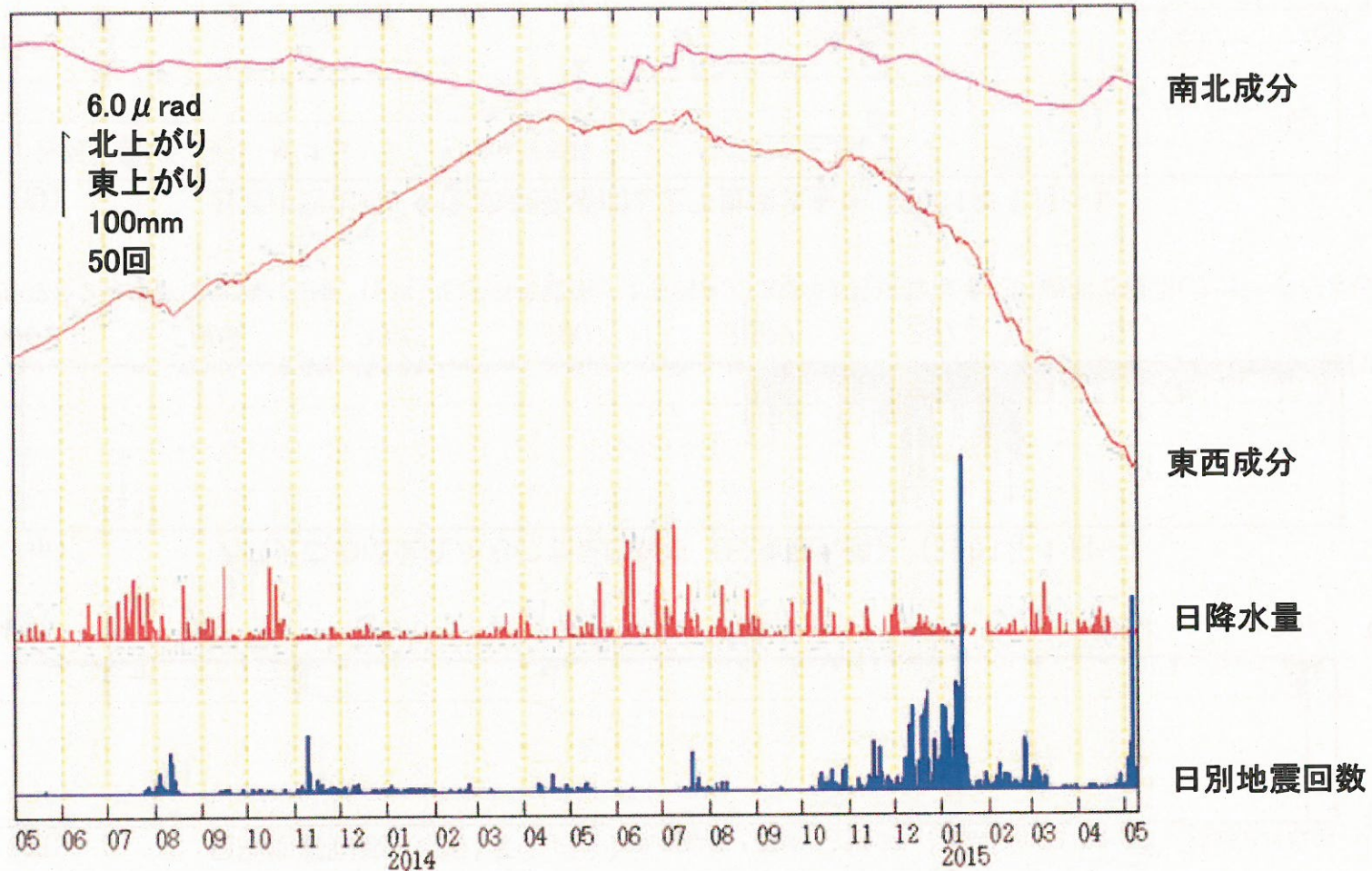


注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さ



火山活動経過図(2001年1月～2015年5月10日)

# 吾妻山の活動状況

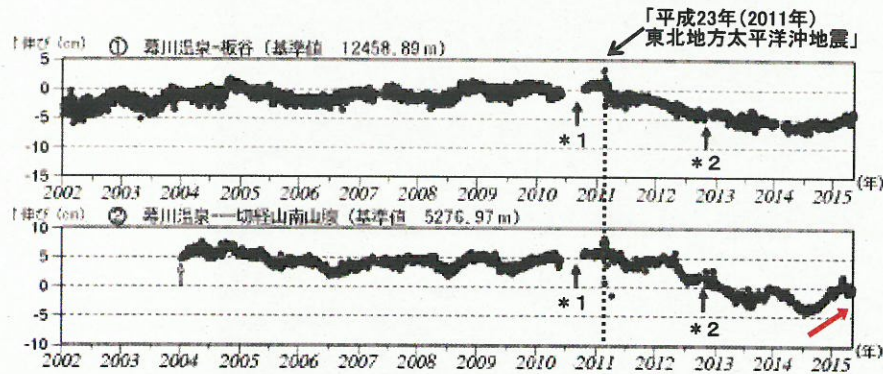
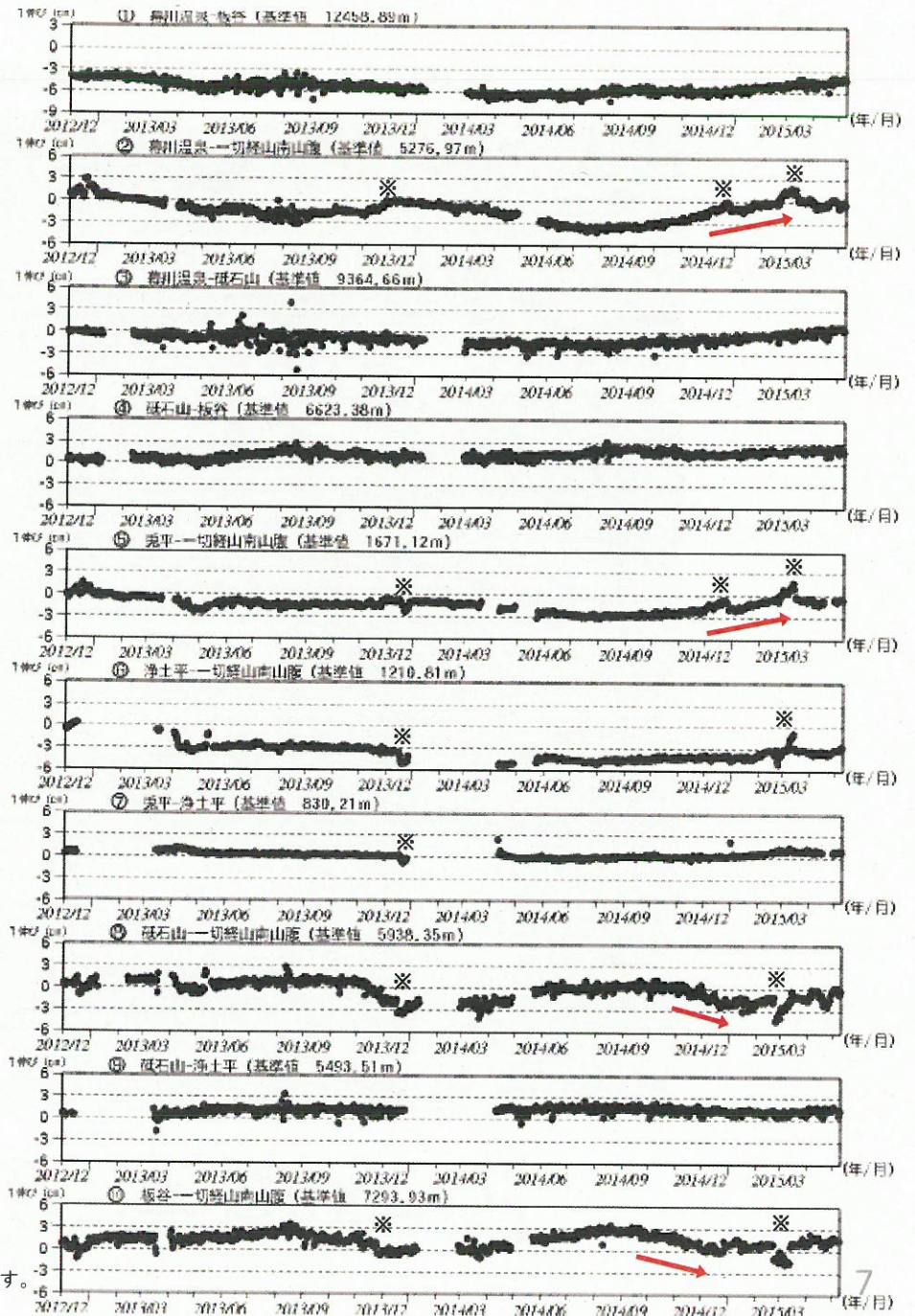


吾妻山 浄土平観測点での傾斜変動

(2013年5月1日～2015年5月10日、時間値、潮汐補正あり)

・1  $\mu$  rad(マイクロラジアン)は、1km先が1mm上下するような変化量です。



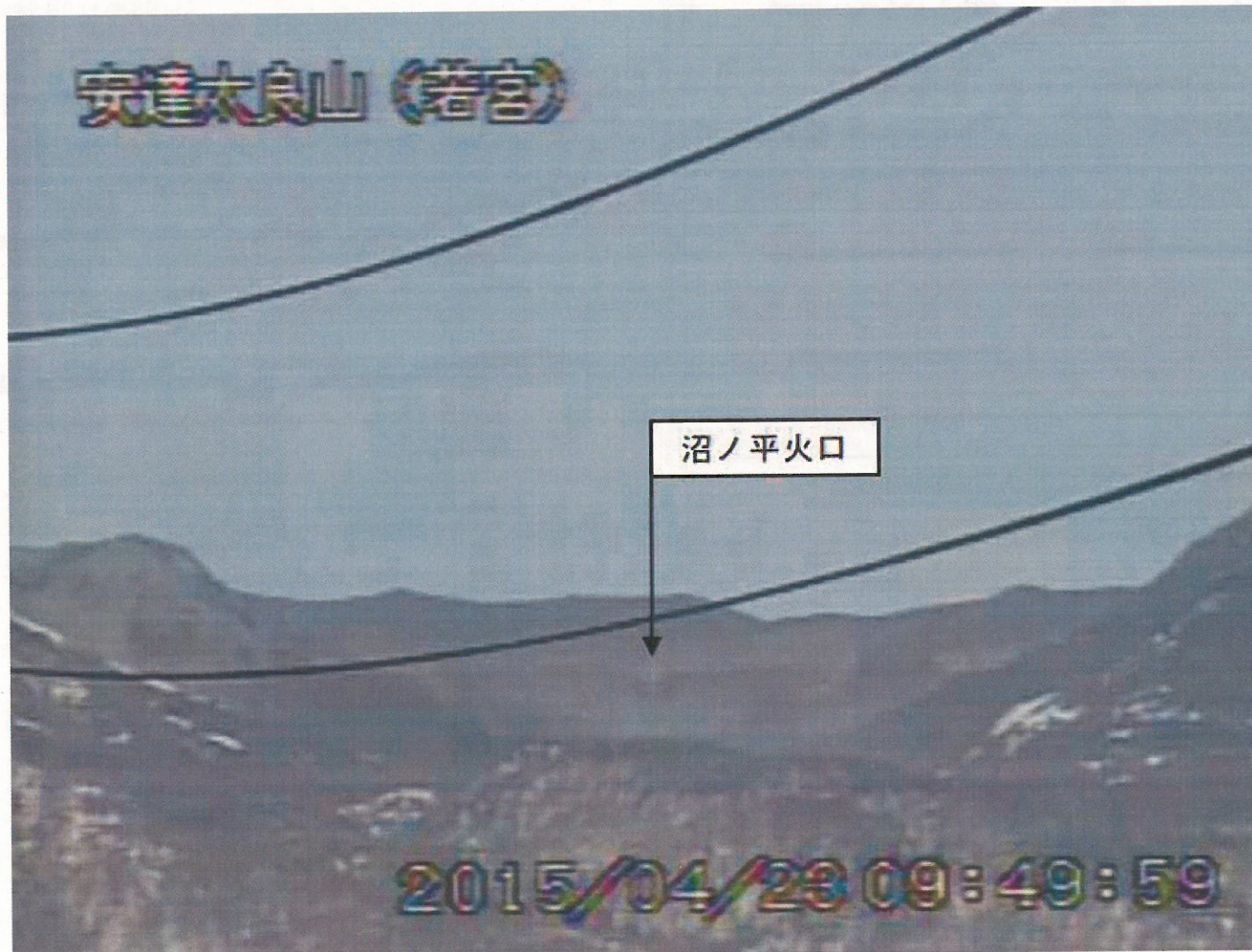


### 吾妻山 GNSS基線長変化図(2002年1月～2015年5月10日)

- ・2011年3月11日以降の変動は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・①～⑩は上図のGNSS基線①～⑩に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・2012年11月に機器の更新と移設を実施しました。
- ・②、⑤、⑧、⑩では、2014年9月頃から一切経山南山腹観測点(大穴火口の北約500m)が関係する基線で緩やかな変化がみられており(赤矢印)、一切経山付近の膨張を示唆すると考えられます。
- \* 1: 幕川温泉観測点の機器を更新しました。
- \* 2: 板谷観測点と一切経山南山腹観測点の機器を更新しました。
- ※ 冬期には、原因不明の変化がみられることがあります。凍上やアンテナへの着雪等の可能性があります。



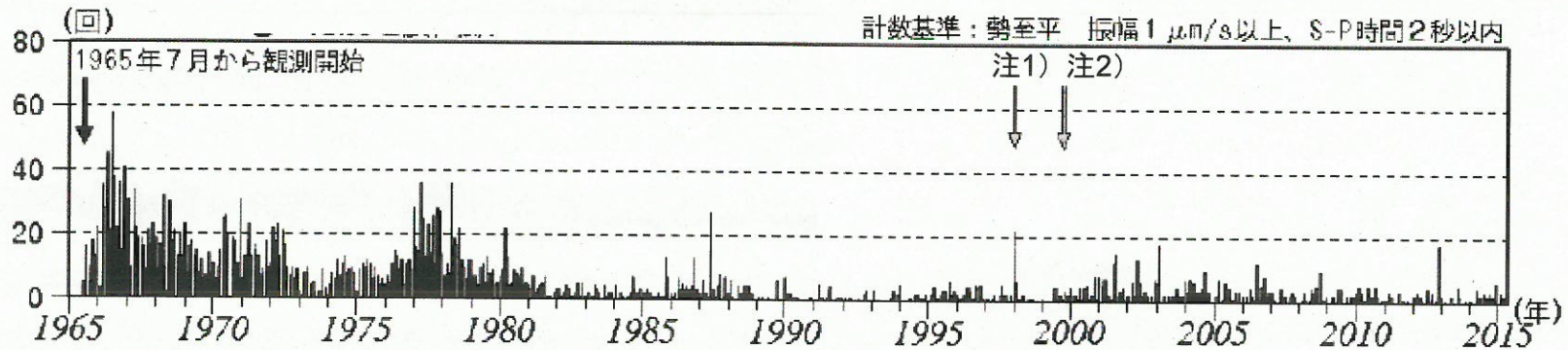
# 安達太良山の活動状況



若宮(沼ノ平火口の西北西約8km)に設置してある遠望カメラの映像



# 安達太良山(地震回数、噴気の高さ)



月別地震回数 (1965年7月～2015年4月)



月別最大噴気高 (1999年11月～2015年4月)

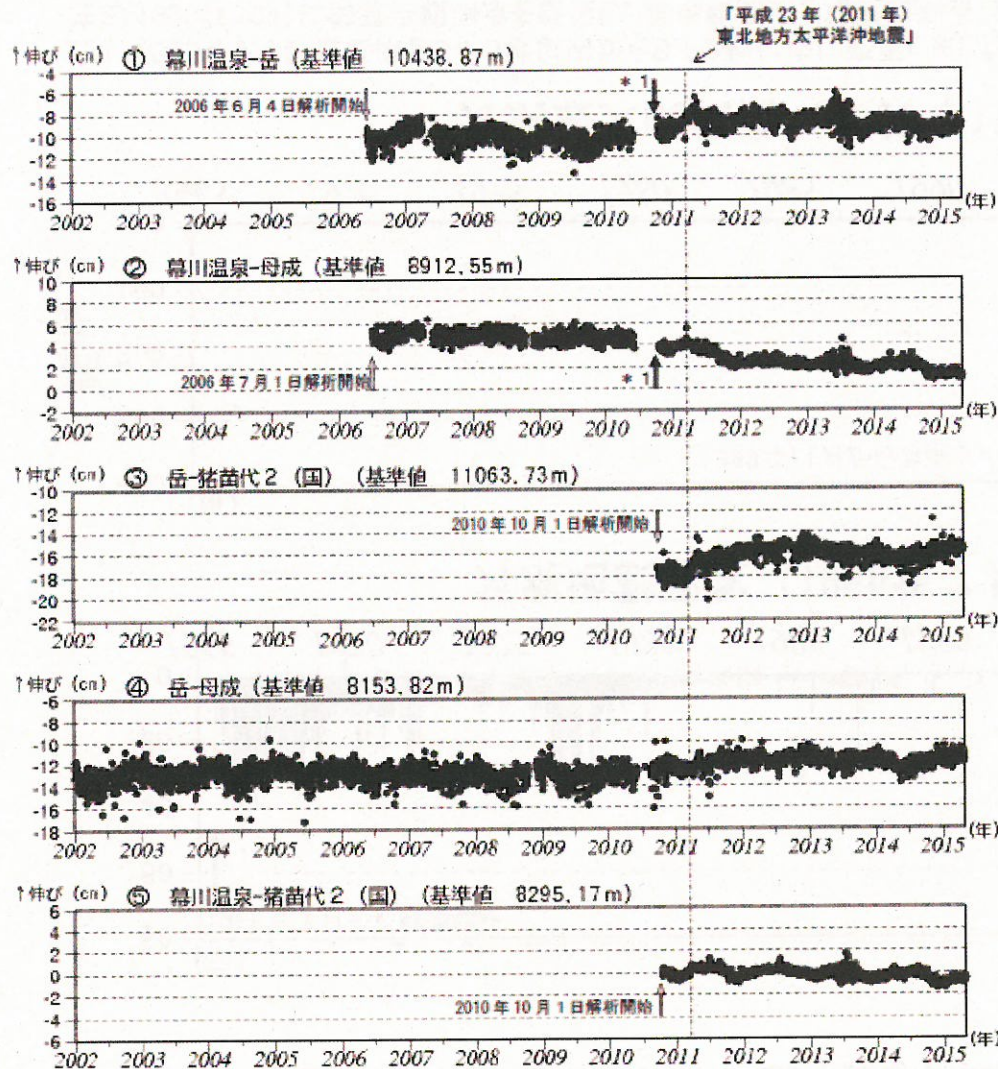
注1) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

注2) 1999年10月に勢至平観測点を新設し、基準観測点を塩沢観測点(沼ノ平火口から東北東約6km)から勢至平観測点(沼ノ平火口から東北東約3km)に変更しました。

注3) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

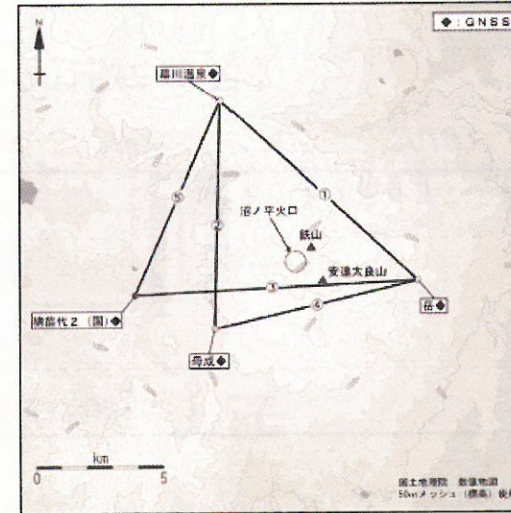


# 安達太良山の活動状況



**GNSS基線長変化図(2002年1月~2015年4月)**

注)GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称



**GNSS観測点配置図**

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の期間の観測点位置を示している  
(国):国土地理院

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良している。
- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正している。
- ・①~⑤は図4のGNSS基線①~⑤に対応している。
- ・グラフの空白部分は欠測を表している。
- ・\*1:幕川温泉観測点の機器を更新した。
- (国):国土地理院



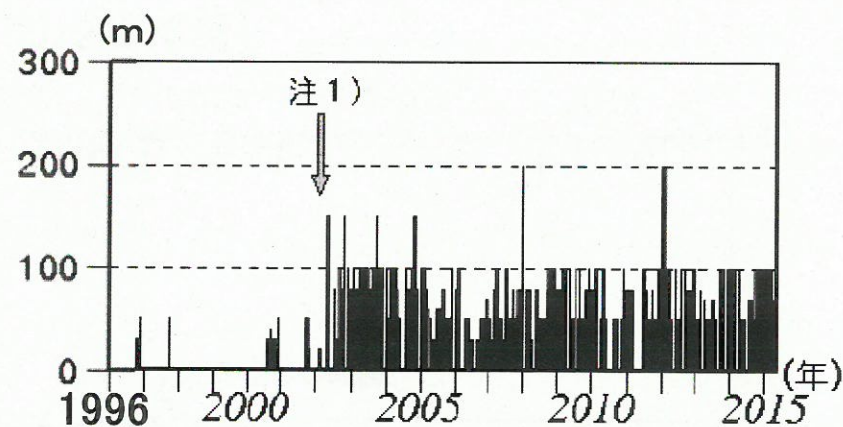
# 磐梯山の活動状況

## 磐梯山の噴気の状態



剣ヶ峰(山頂の北約7km)に設置してある遠望カメラによる観測

山体北側火口壁からの白色噴気で、  
高さは70m

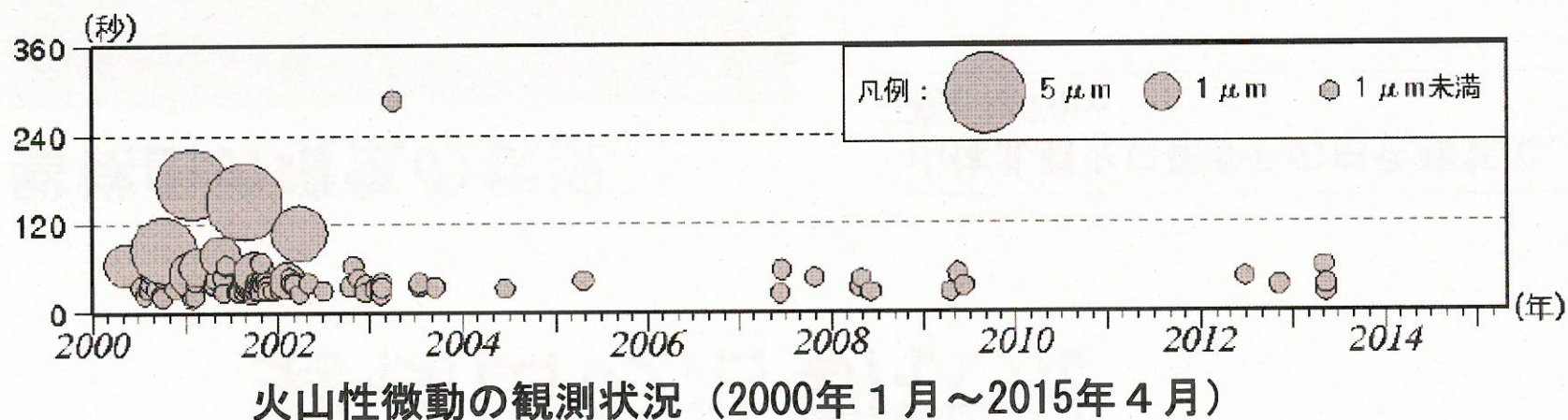
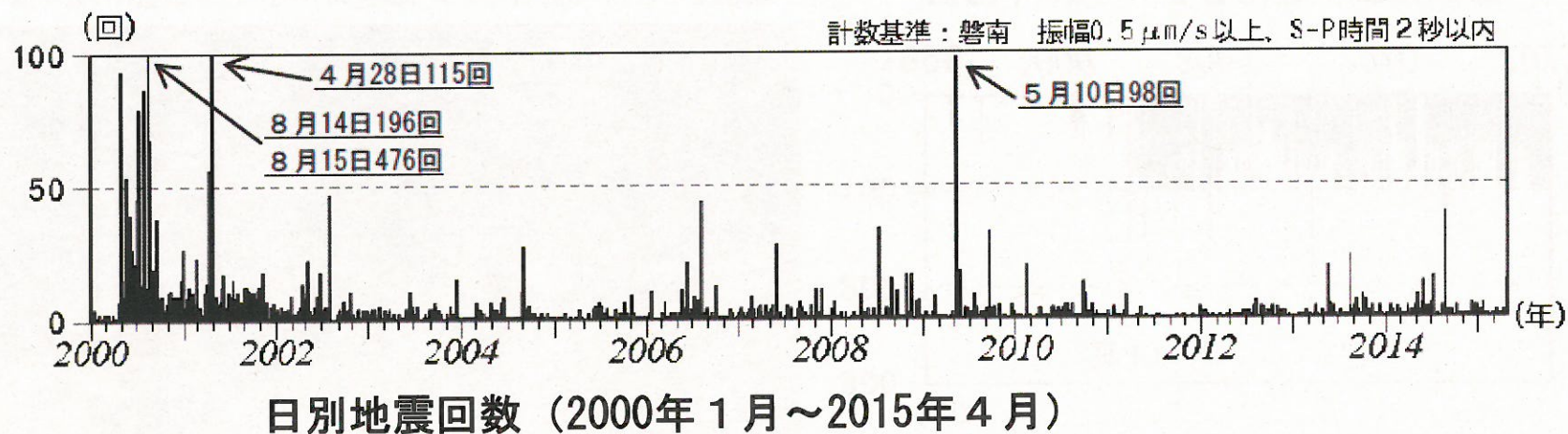


遠望カメラによる月別最大噴気高度  
(1996年4月～2015年4月)

注1) 2002年2月以前は、09時、15時及び随時観測  
2002年3月以後は、全ての時間で観測

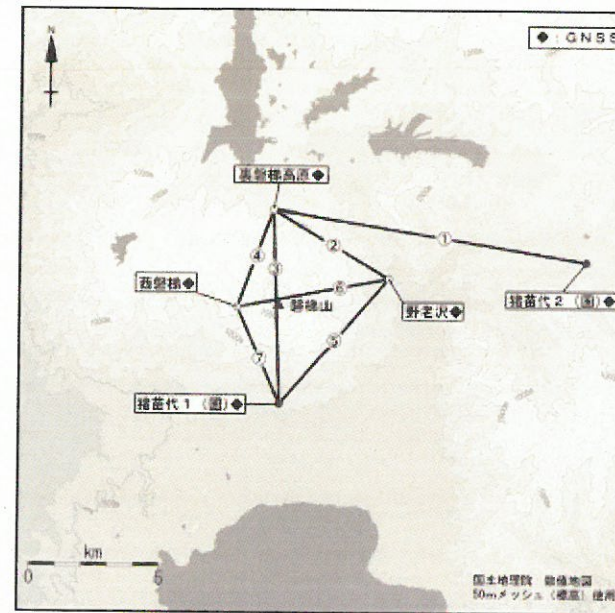
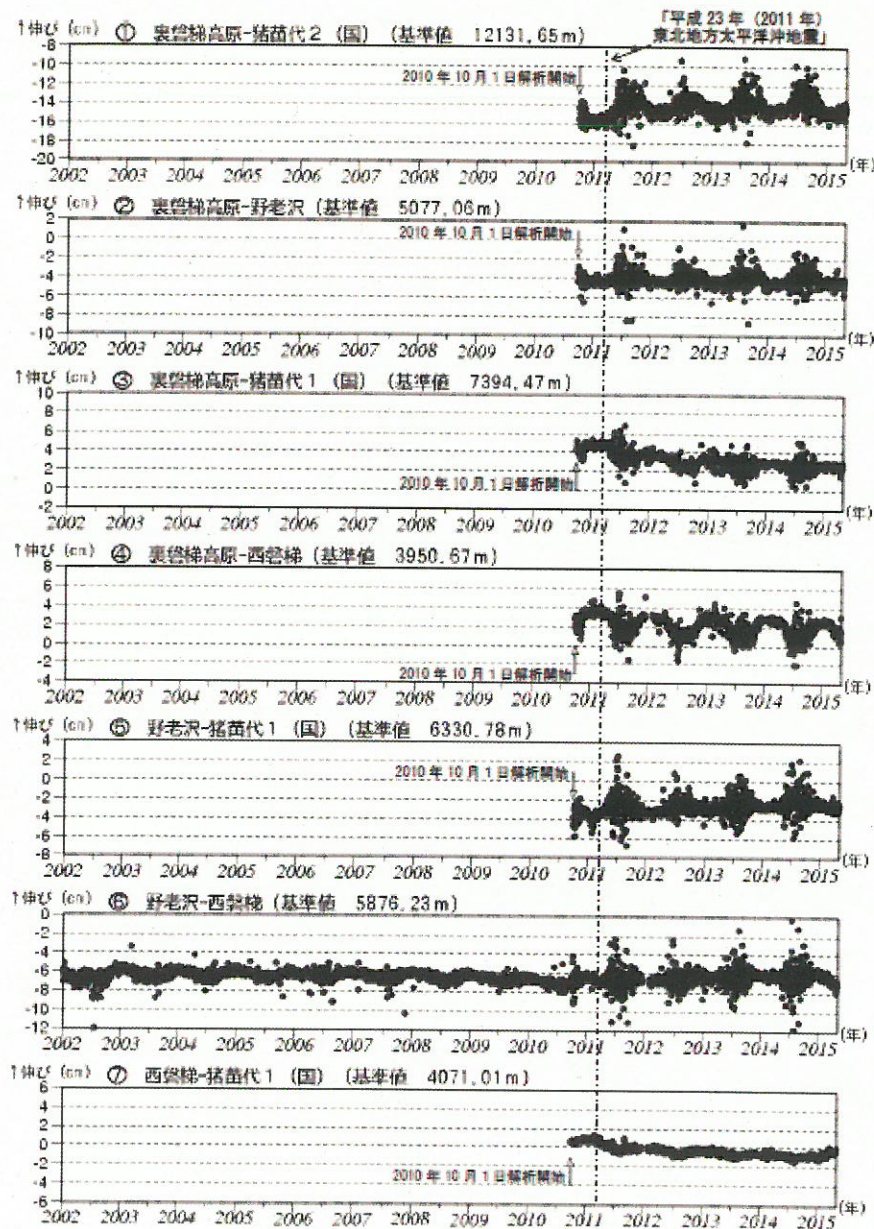


# 磐梯山の活動状況





# 磐梯山の活動状況



GNSS観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の期間の観測点位置を示している  
(国): 国土地理院

GNSS基線長変化図(2002年1月~2015年4月)

注) GNSS(Global Navigation Satellite Systems)とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称

- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良している。
  - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正している。
  - ・①~⑦は図5のGNSS基線①~⑦に対応している。
  - ・グラフの空白部分は欠測を表している。
- (国): 国土地理院